

品性が表れるのは、ドアを開けるときより閉めるとき。

ドアを閉める瞬間は、品性の表れやすい瞬間です。

ドアを開けるときではありません。

閉めるときも、開けるときと同じくらい重要です。

ドアを閉めるときを思い出してください。

スプリングがついたドアは、開けてから手を離しても、自動的に閉まります。

急いでいるときでも、ドアの半開きを防げるため安心です。

しかし、これは上品なドアの閉め方とは言えません。

ドアが閉まるとき「ばたん」と音がします。

ドアのタイプによっては、大きな音が響くこともあります。

スプリングの調子が悪いと、ドアが半開きのままになるでしょう。

上品にドアを閉めるなら、きちんと閉めきるところまで手を使いましょう。

ゆっくりドアを閉めれば、大きな音は響きません。

ちょっとした違いですが、これを心がけるだけで、あなたの動作はずいぶん上品になります。

片手でもいいのですが、両手を使えば、いっそう上品です。

「時間がかかる」と思うかもしれませんが、ほんの2、3秒です。

たった数秒をたいせつにするだけで、ドアを閉めた後の余韻がずいぶんよくなります。

1つ1つの動作を落ち着いて心がけたほうが、生活に上品な雰囲気漂うのです。



生活の質を向上させるマナー その10

ドアを開けたら、閉めきるまで手を使う。